

我孫子市パブリックコメント意見書

我孫子市長 あて

住 所

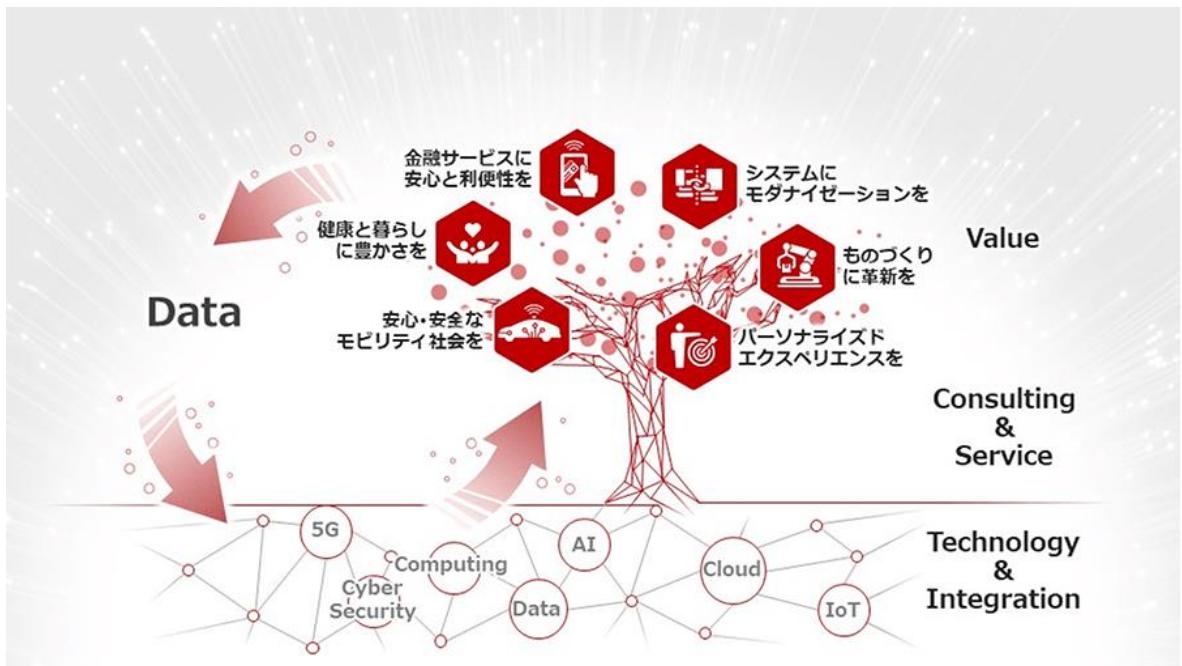
氏 名

法人その他の団体にあっては、事務所又は
事業所の所在地及び名称並びに代表者の氏名

パブリックコメント件名 我孫子市企業立地方針の改定(案)について

	意 見	「企業を育てるまち あびこ」プロジェクトは企業を育てるプロジェクトで工場の土地を作ることではありません。 何をしなければならないのか
1	理 由	デジタル起業を育成して、金を儲ける(住民税と同額が最低目標) これからの企業はでデジタル企業となります。大きな土地は必要ありません。デジタル企業が一か所に集中するには1haあれば十分です。これをエコセンターと呼んでいます。職住近接の方が優秀な人材、企業が集まります。 今年から始まる人類最大の第四次産業革命はAIを基盤とするデジタル革命であります。工業革命ではありません。 2020年から5GnO商用開始 2020年、IoTのサービス開始 2019
2	意 見	デジタル起業を育てるのは市です。市の持っている行政情報はモノづくり産業ではなく、デジタルづくり産業であります。 どのようにするのか 大四次産業の波に乗る自治体は栄え、乗れない自治体は消滅する。

	理 由	<p><u>Society 5.0による「新たな価値」の事例は 交通、医療・介護、ものづくり、農業、販売、食品、防災、エネルギーがあります。</u></p> <p><u>Society 5.0が進めているのはデジタル産業です。</u></p>
--	-----	---



3	意 見	<p>全行政文書デジタル化がデジタル化しなければなりません。 どこからするのか 市のデジタル情報を資源として、デジタル起業に発注する。</p>	Society 5.0
	理 由	<p><u>政府は全行政文書を2026年までにデジタル化する。</u></p>	

4	意 見	<p>全職員のSoeity 5.0教育と小、中学、高校でのAI教育を実施する。</p> <p>誰がするのか</p> <p>職員教育:デジタル化を進めるために</p> <p>小、中、高校のAI教育をする。若い家族が転入してくる、次世代のデジタルガバメントを進める。</p>
4	理 由	<p>デジタルガバメントを実現する人材が必要です。</p>
5	意 見	<p><u>デジタル起業を育てるあびこ 5.0の基盤であるデジタルエコシステムを構築する。</u></p> <p>何ですのか</p> <p>エコシステムとAIプラットフォームで。</p>
5	理 由	<p>デジタル起業を育てるには市全体が一体となって行われなければならないと述べられている。「<u>市内関係機関との連携</u>」 商工会や商工会会員、一般財団法人電力中央研究所、千葉県立我孫子高等技術専門校、中央学院大学、川村学園女子大学、宅地建物取引業協会、市内金融機関、電力・ガス等のインフラ企業等と連携し、「企業を育てるまち」を実現できる体制を構築します。</p> <p><u>神戸エコシステム</u> <u>Tronto Ecosystem</u></p> <p><u>東大柏ベンチャープラザ</u> <u>Global Innovation Center</u></p>